



2020年12月15日

各 位

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3
株式会社ビー・エム・エル
代表取締役社長 近藤 健介
(コード番号：4694 東証第一部)
(問い合わせ先)取締役執行役員企画本部長 武部 憲尚
電話 03-3350-0502

新型コロナウイルスPCR検査の受託体制の強化について

この度、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）PCR検査（以下、「本検査」）の受託体制を強化しましたのでお知らせいたします。

当社グループでは、本年3月6日より、帰国者・接触者外来を設置している医療機関等から本検査の受託を開始して以降、感染者の増加とともにPCR検査の需要は顕著な高まりを見せ、検査需要の急速な増加に応えるべく、段階的に検査設備の拡充を図ってまいりました。

今般、以下の通り、さらなる迅速な報告体制の構築と検査能力の増強を図りました。

1. 早期報告体制の構築

11月9日より、測定作業を夜間にシフトにすることで、受付から報告までの時間を平均で7時間の短縮、最速では受付の翌朝6時の報告が可能となりました。

2. 受託検査数の増加

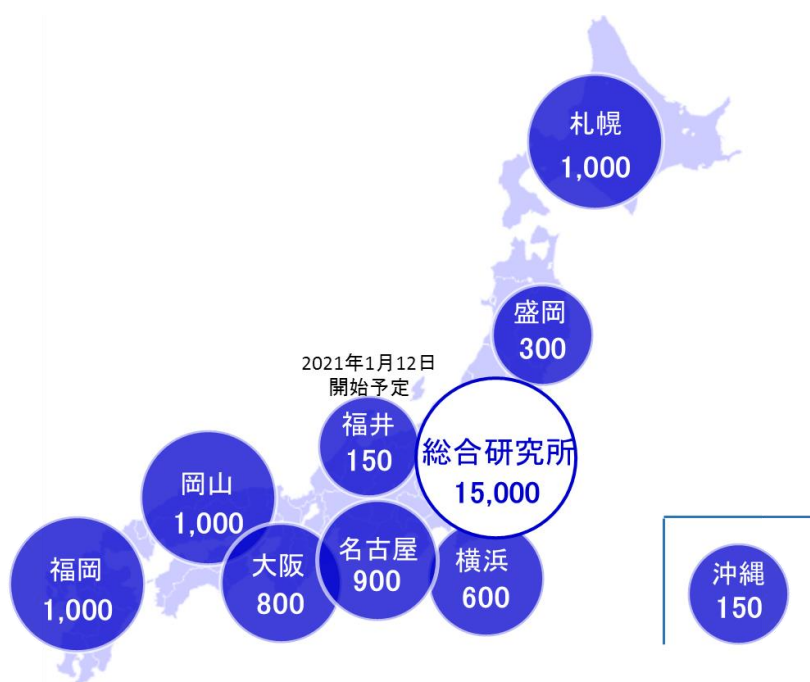
- ① 12月21日より、BML総合研究所においてサーモフィッシャーサイエンティフィック社の自動PCR検査プラットフォーム「Amplitude COVID-19検査ソリューション」が稼働します。本機は米国で先行して実用化されており、1式で1日に最大8,000検体を処理する能力を有しています。
- ② 2021年1月12日の福井ラボの稼働により、BML総合研究所・札幌・盛岡・横浜・名古屋・福井・大阪・岡山・福岡・沖縄の10ラボにおいて1日20,900件の受託が可能となります。

当社といたしましては、引き続き医療体制の充実に向けたサービスが提供できるよう努力してまいります。

なお、今年度の通期連結業績に与える影響は現在精査中です。

新型コロナウイルスに感染した患者様の早期回復と一刻も早い事態の鎮静化を心よりお祈り申し上げます。

2021年1月12日以降のBMLグループPCR検査体制（検査能力20,900件/日）



以上